

【学会報告】

学会名：第25回日本生涯スポーツ学会大会

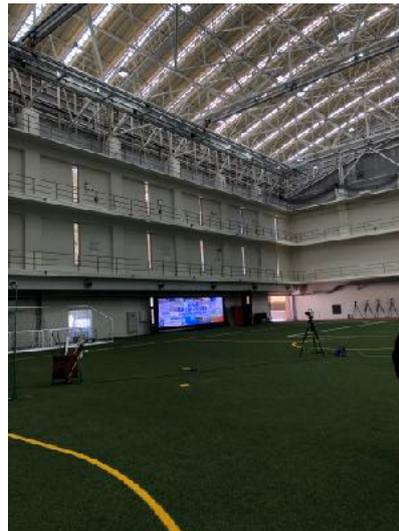
開催日：12月3日(土)～4日(日)

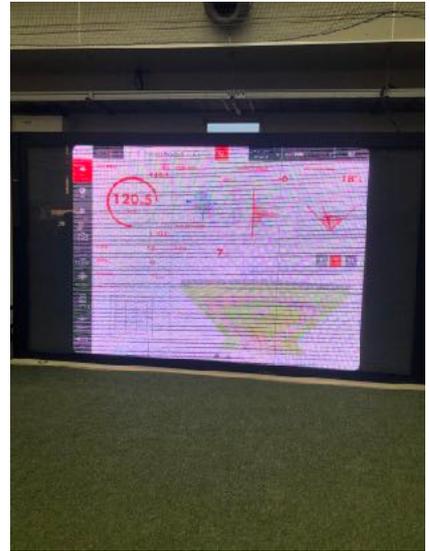
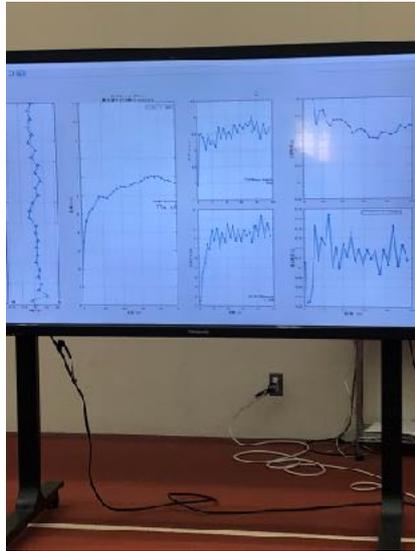
場所：鹿屋体育大学

〈土曜日〉

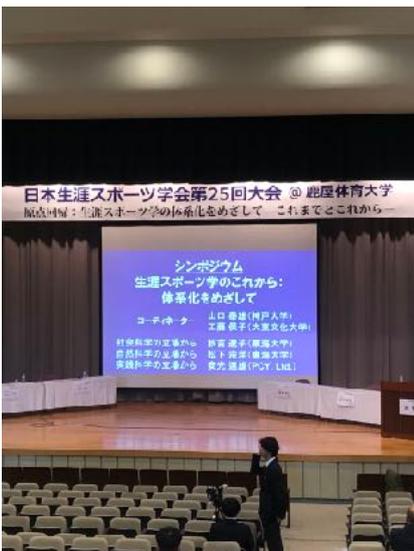
- ・シンポジウム
- ・パフォーマンスセンター見学
- ・口頭発表、ポスター発表

パフォーマンスセンター見学では、施設の規模に圧倒されました。紹介して頂いたのがテニスコートではボールの打ち出しの高さやスピード、回転数の表示ができるトラックマン、屋内では巨大なモニターを筆頭に1秒に3600コマ撮影できるスーパースローカメラや打球速度や打球角度、想定飛距離などの確認ができるラプソード、日本で鹿屋体育大学にしか設置されていない直線連続の50mフォースプレートで、それぞれ見学・体験させて頂きました。改めて自分の動きを客観的に具体化・数値化されることの楽しみやフィードバック→修正の速さを体験させて頂きました。こういう施設を福井県にも作りたいと思いました。





研究発表について、企業で参加しているのは自分だけで、後は大学の生徒さんや院生、教師、教授の方ばかりで、より緊張感が増しました。シンポジウムや皆さんの口頭発表を聞いたときに知らないワードがいっぱい出てきて、まず研究にあたり、行う研究に対して適切な検定方法を選定するなど、統計学の知識が全然足りていないなと感じました。



〈日曜日〉

・口頭発表

「体軸」というワードを知っている先生方も数名おりました。

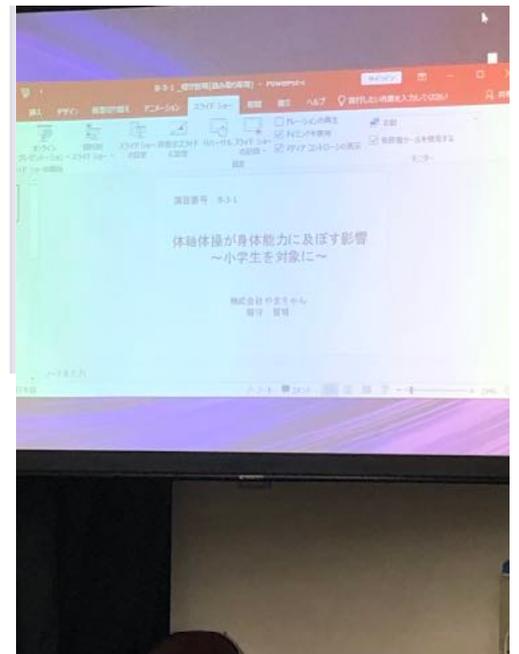
質疑応答の時に「もう少し別の検定方法がある」「検査条件は介入前後で極力揃えた方が良い」「もう少しバランスや身体の使い方に寄った検査項目だと良い結果が得られたのではないかとフィードバックを頂きました。

体軸体操に興味を持ってくださった先生方もいて、「YouTubeで体軸体操、検索してみます」と言ってくれていた先生もいらしたので、それはすごく嬉しかったです。頂いたフィードバックを参考にさせて頂いて、また次の学会に向けて体軸体操の研究を続けて参りたいと思います。

口頭発表 B-3 (301 教室)

座長：青山将己 (流通科学大学)

- 9:00 B-3-1 畑守 哲明 (株式会社やまちゃん) ★
体軸体操が身体能力に及ぼす効果の検証～小学生を対象に～
- 9:20 B-3-2 北濱 幹士 (東海大学)
幼児の眼球運動測定の必要性和測定方法について
- 9:40 B-3-3 前田 博子 (鹿屋体育大学 (非常勤))
生涯スポーツにおける性別競技形態の必要性
- 10:00 B-3-4 彦次 佳 (関西大学 人間健康学部)
「Diving with Dolphin」プログラムの心理的効果と社会的効果



【次回研究予定】

体軸体操を用いた筋力に頼らない身体機能の評価

【終わりに】

株式会社やまちゃんの皆さんや論文作成にあたり、協力してくださった子ども達とその保護者の皆さん、たくさんの人たちの協力を頂きながら一つの論文を書き上げることができました。私の勉強不足や実力不足で、立てた仮説とは違い思うような結果が出ませんでした。あの場に立たせて頂いて、関わって頂いた皆さんには感謝でいっぱいです。ありがとうございました。